

# 令和 2 年度事業計画

## I 事業計画策定の趣旨

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進むなか、元気なうちにはいつまでも働きたいと希望する高齢者は増加しておりますが、働き方改革による継続雇用や定年延長等により、センターへの入会年齢は引き上がる傾向にあります。

このような状況下において、介護施設の増加等に伴う福祉の担い手や現役世代のサポート等、高齢者に求められる役割は増加しており、それらに対応できる会員の確保、また植木や除草等の会員確保も課題となっております。

今年も更なる飛躍にむけた第 3 次中長期事業計画の 2 年次として、法令遵守のもと、センター一丸となり基本的課題に沿った施策を進めてまいります。

### 基本的課題

- (1) 就業を希望する高齢者の積極的な受け入れ
- (2) 就業機会の確保並びに公平な就業機会の提供
- (3) 高齢者が健康で楽しく社会参加するための支援
- (4) 魅力あるセンター運営

## II 計画の目標（派遣事業を含む）

会員数	610 人
契約金額	259,500 千円
就業延べ人員	58,500 人日

## III 基本方針

- 1 会員の増強
- 2 就業機会の確保
- 3 安全・適正就業の推進
- 4 地域貢献
- 5 運営基盤の強化
- 6 魅力あるセンターづくり

## IV 事業の実践施策

- 1 会員の増強
  - ① 新規会員の入会促進

入会説明会において、具体的な受注内容の説明を行い、入会を促進します。  
また、各業務担当者との面談を速やかに行うことにより、入会を促進します。

- ② 新里・黒保根各地区における入会説明会を検討します。
- ③ 女性対象の入会説明会を開催し、女性の入会を促進します。  
また、女性会員交流会等を検討し、女性会員の定着を図ります。
- ④ 役職員によるPR活動や地元紙への記事掲載等により、入会を促進します。
- ⑤ 会員の定着への取組み  
ワークシェアリングやローテーション就業を進め、未就業会員の解消を進めます。  
また、未就業会員への積極的な声掛けを行い、退会会員の減少に努めます。

## 2 就業機会の確保

### 【就業機会の拡大】

#### ① PR活動の強化

ア 桐生市等のイベント参加によるシルバー事業PR、また桐生市広報や地元紙への記事掲載により市民へのPRを図ります。

イ 役職員によるPR活動を行います。

ウ 会員一人ひとりの口コミによる入会希望者並びに就業開拓のPR活動を進めます。

#### ② 顧客満足度アップ

ア 植木・刈払機作業、障子・襖・網戸張り等の実技講習会を実施し、会員資質の向上や後継者育成を行い、顧客満足度を高めます。

イ 各職群等において接遇研修を実施し、お客さま対応の向上を図ります。

ウ 会員の増強や後継者育成等により、受注から就業開始日までの短縮を図ります。

#### ③ 新規事業の取組み

桐生市との協定による空き家管理事業に取り組み、受注増に繋がります。

#### ④ シルバー派遣事業の推進

群馬県シルバー人材センター連合会と連携を保ちながら、高齢者の就業として安全適正な事業推進を行います。

また、派遣法の改正等に的確に対応できるよう、職員のスキルアップを図ります。

### 【公平な就業機会の提供】

ワークシェアリングやローテーション就業を進め、公平な就業機会の提供により就業率の向上を図ります。

### 3 安全・適正就業の推進

- ① 事故ゼロを目指します。
- ② 安全・適正就業委員会による巡回パトロールを毎月行い、安全対策また就業マナーに対する注意喚起を促します。
- ③ 安全講習会の実施
  - ア 刈払機作業時の石飛による事故防止等に向けた講習会を実施します。
  - イ 刈払機作業に従事する場合の安全衛生教育やチェーンソー作業に従事する場合の特別教育を随時実施していきます。
- ④ 安全標語の募集並びに活用
  - 会員並びに役職員に向けて安全標語の募集を行い、入選作の活用を進め、もって安全意識の向上を図ります。
- ⑤ 健康管理の推進
  - 安全就業並びに自己の健康管理に向けて、桐生市が実施する「新わたらせ健康診査」等を毎年受診するよう促します。

### 4 地域貢献

- ① 毎年10月のシルバー普及啓発促進月間において「シルバーの日」を設け、各地区毎に清掃ボランティア活動を行います。
- ② 会員互助会と連携した「シルバー祭り」を開催し、地域社会に開かれたセンターとして交流を図っていきます。

### 5 運営基盤の強化

- ① 配分金等単価の見直し
  - 群馬県最低賃金の改正に伴う配分金等単価の見直しを行います。
- ② 消費税法改正に伴うインボイス制度の導入にむけて、適正に対処できるよう準備を進めます。
- ③ 事務局体制の強化を図り、事務の効率化並びに経費の節減等コスト意識を高め、財政基盤の充実を図るとともに公益社団法人としての的確な事務処理に努めます。
- ④ 県連合等関係機関の研修会へ積極的に参加し、役職員の資質向上を図ります。また、センター内において定期的な業務研修を行い、職員のスキルアップを図るとともに接遇マナーの向上を図ります。

### 6 魅力あるセンターづくり

- ① 会員互助会と連携し、楽しく参加できる諸行事の検討を進めます。
- ② 会員アンケートの集計結果並びに寄せられた意見等の活用を図ります。